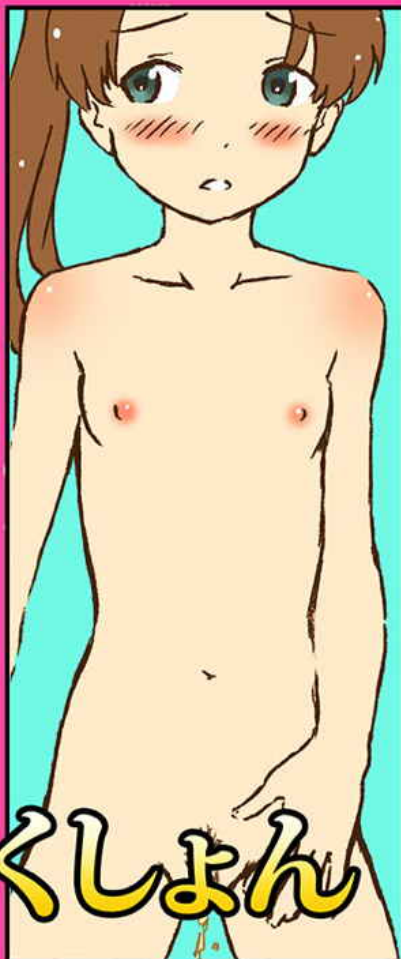
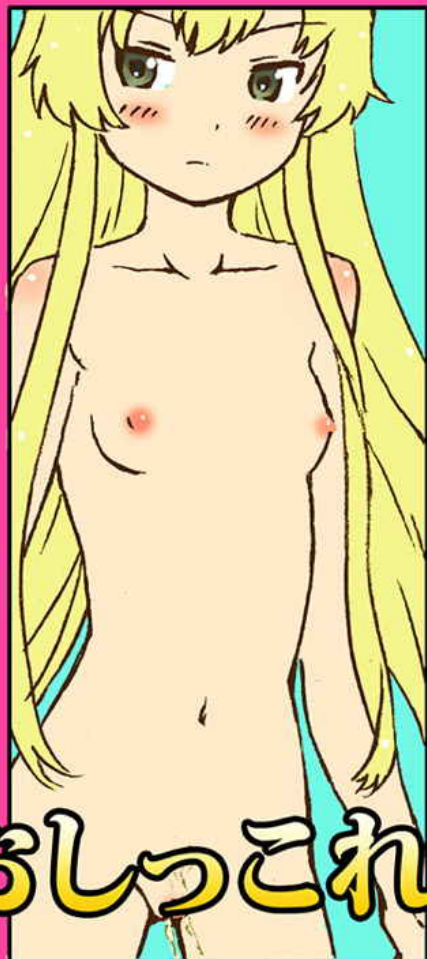
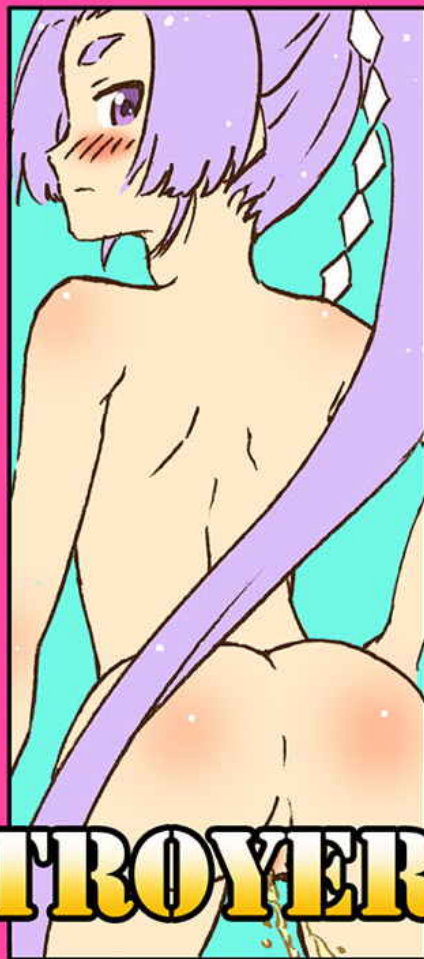
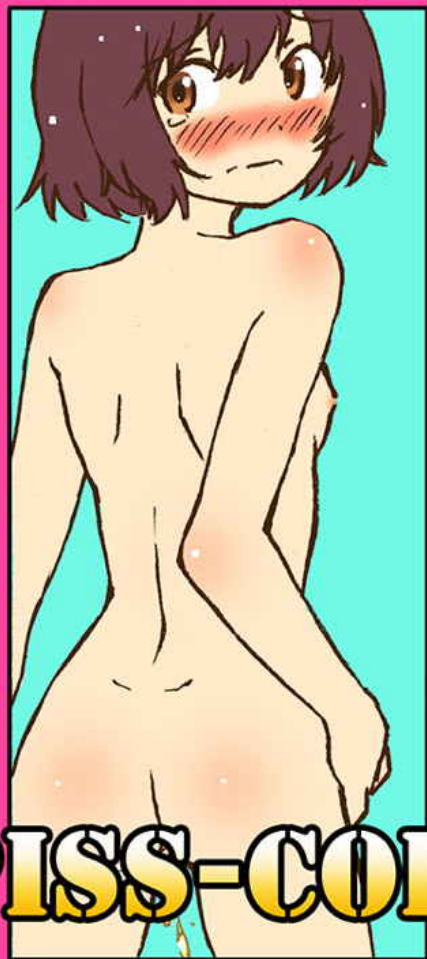


# COMBINED FLEET GIRLS COLLECTION FAN BOOK



おしっここれくしょん

駆逐艦編



PISS-COLLE DESTROYERS

VOLUME 01 FOR ADULT ONLY

## ～秘書艦 霧島の日記より～

私がお仕えする提督は女性ながら**変態**である。**具体的にはロリコンだ。さらに放尿が大好きだ。**鎮守府において、その好色な視線は必然的に、小さな駆逐艦娘たちへと向けられることとなる。嗚呼！ うら若き大和撫子が、なんたることか。しかし、もはや私に彼女を批判する資格はない。提督に付き合わされるうち、**私もまた、同じ性的嗜好に目覚めてしまったのだ。**

金剛姉さん、比叡姉さん、榛名、お許してください。霧島は、ドックで■い駆逐艦娘たちが戯れに用を足す姿に欲情し、自らを慰めるといふ、ぐうの音も出ないほどの畜生に成り下がってしまいました。嗚呼、でも、でも。この淫らな指を止めることは、もはや自力では叶わないのです。邪な欲望も膨れ上がるばかり。ついには、**精密検査と偽り、駆逐艦娘たちにあられもない格好をさせ、その記録映像を作り上げるに至った**(撮影担当の青葉は衣笠を隠し撮りしていたことをネタに、容易に強請れた)。当分の間オカズには不自由しない。燃料がカラでも出撃できる自信がある。さて、提督との秘密の鑑賞会に備えて、映像を編集しよう。

# 島風型一番艦

## 胸部装甲

駆逐艦娘の中では胸も大きいほうなのにノーブラなので、大破でもすると丸見えである。本人いわく、そんなものをつけたら速度が落ちるだけだし、そもそもおっぱい自体邪魔なのだそうだ。見上げたロリ魂。

## 陰部

生えかけの陰毛がたいへんそそる。これも速力低下につながりそうだが剃らないのかと訊いたところ、頬を赤らめて言葉を濁された。思春期の艦娘心は複雑ということらしい。

## 下着姿

私が言うのも何だが、この娘は露出癖でもあるのかと心配になる。というか私も提督も目のやり場に困る。嬉しいけど。(霧島のコメント。以下同じ)



## 性器

小陰唇はあまり発達しておらず、色素の沈着もきわめて少ない。カワイイヤッター！ なお本人いわく「ここに魚雷は積めないよね、さすがに」とのこと。艦娘脳の恐怖……。

## 放尿

なんと、立ったまま性器を少し広げておしっこを出しはじめた。興奮を抑えつつ聞いてみると、遠征の最中にもよおしたときなど、パンツをずらして立ったまま用を足すほうが「早い」のだとか。とことん速さ(早さ)にアイデンティティを見出しているのね……。

## 自慰

いきなり酸素魚雷を股間に当てたのでさすがに驚いたが、割れ目や陰核をしばらくなぞっていたかと思うと、突然「んっ」と小さく呻いて身体を震わせた。何でも、いつもその程度で達してしまうらしい。こんなところまで「早い」とは……。

# 吹雪型一番艦



## 胸部装甲

吹雪型の胸は概してささやか。まあまるきり平たい胸族の暁型に比べれば、ちゃんと膨らんではいらぬのだけど……視線を彷徨わせ、恥らう吹雪ちゃん最高。



## 下着姿

正直地味な娘だ。下着もシンプルかつオーソドックスな白。だがそれがいい。やはり年頃の少女はこうでなくては!



## 陰部

駆逐艦娘の中では、わりときっちり陰毛が生えているほう。ちなみに、吹雪型で一番陰毛が濃いのは意外(?)にも初雪なのだそうです。

## 放尿

女学生がもよおして野外で……という雰囲気を出してもらうため、一度服を着てもらった。我慢していたらしく、たちまち大きな水溜まり、いや尿溜まりが。思わずその場で手淫を始めそうになった。長時間の遠征中には、洋上でこういう光景がしばしば見られるのだそうで……私、明日から軽巡洋艦になろうかしら？



## 性器

小陰唇はわりあい発達していて、指で押し広げると左右に伸びた。膣口まわりはやや複雑な凹凸になっている。陰核はあまり目立たない。他の姉妹に比べて色素が濃いことを気にしているらしい。まさか……見せっこしているの？



## 自慰

魚雷を使うでもなく、普通に指で乳首や陰核、膣を刺激して切なげに喘ぐ。まさに女学生の自慰だ。駆逐艦娘のあいだでは、枕カバーを裏表逆にしたら自慰をするという合図で、皆気を利かせて早めに床に就くらしい。そして、自慰をする娘は夜中に起きだして……というわけ。今度青葉に隠しカメラ仕掛けてもらおう。

# 吹雪型五番艦 叢雲

## 胸部装甲

とはいえ、胸の薄さはプライドでは補えない。というかこの娘、駆逐艦娘のなかでもとりわけ細いのである。提督はうっすら浮き出たあばらに欲情するのだとか……たしかに、うん。



## 下着姿

言動に順ずるように、年恰好のわりに高価そうな下着を着けている。そりゃあ、中破してキレルのも無理はない。もっと安価なスポーツタイプの下着にすればよいのに、そこはプライドが許さないのだろう。

## 陰部

無毛割れ目!!!!  
非の打ち所のない、キレイな割れ目だ。小陰唇がはみ出すでもなく、陰核包皮が突出しているでもなく。敢えて服を着た状態でストッキングとパンツをずり下げ、上着の裾を捲らせたのは大正解だった。私に男性器があったら、その場で見抜きしていたところね。



## 性器

完ツッ全に■の女性器である。小陰唇は大陰唇に埋もれ、陰核も包皮ごと秘裂の中に収まっている。それを涙目で無理に押し広げる姿はとてつもなく扇情的だった。いい仕事したわ、私。



## 放尿

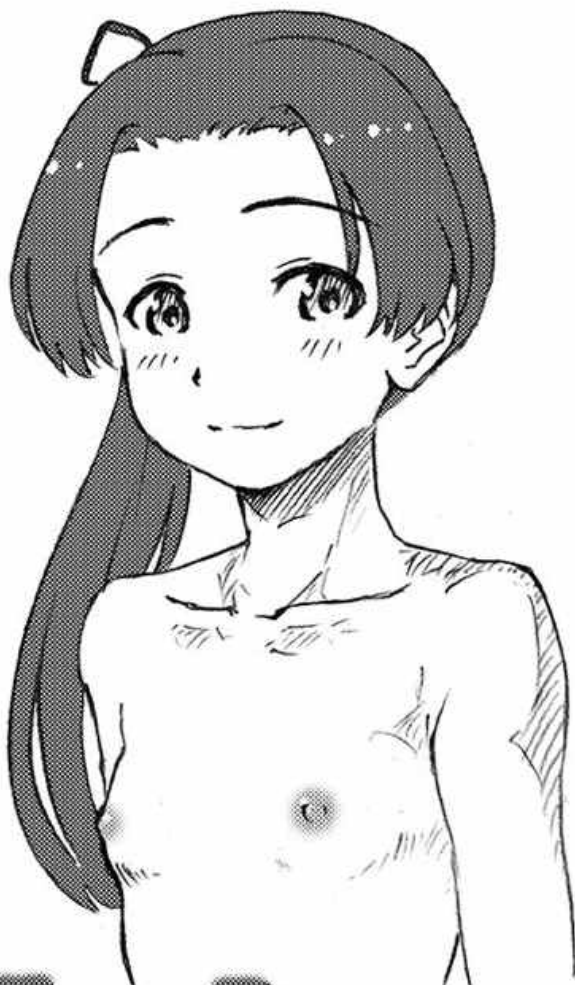
彼女のようなプライドの高い女の子にはどんなおしっこをさせるべきか？ 私のたどり着いた答えは、膝をついてお尻を突き出させ、お尻ごと秘所を広げて排泄させるといったものだった。後ろ向きに勢いよく飛ぶ尿。恥辱に歪む美しい顔立ち。完璧だった。艦隊の頭脳たる私の理性がなければ、彼女の股間にかぶりついて貪り飲んでいただろう。私がんばった。

## 自慰

09

酸素魚雷に幼い性器をこすりつける叢雲。いったい誰がこんな方法を広めたのかしら？ 川内？ 大井？ 伊19？ 愛液まみれの魚雷で始末される深海棲艦は少し気の毒ね……。





### 胸部装甲

乳房はかなり慎ましい。たぶん龍驤といい勝負（それはそれで、龍驤に同情を禁じ得ないのだけど……）。しかし、色素の薄い桜色の乳首が綺麗だ。まったく、ロリっばいは最高ね！



### 陰部

提督に借りた昔の少女ヌード写真集（ホント、憲兵に捕まらないのが不思議……）を参考に、セーラー服にノーパンといういでたちでスカートをめくってもらった。陰毛は恥丘の上のほうに集中していて、割れ目は丸見え。そして割れ目からは小陰唇がはみ出ている。これもこれで、少女の醍醐味だ。

### 下着姿

叢雲や初春とは違った意味で気品の漂う彼女。下着も決して高価なものではないのだけど、どこか優雅に着こなしている印象を受ける。これでも私と一緒に大暴れした武勲艦なのよね。そういう縁もあり、快く脱いでくれたことに些か後ろめたさも……。

## 性器

見苦しいものでごめんなさい、と恥ずかしそうに言いつつ、大きく足を広げ、そっと指で大陰唇を押し開く。その中は、あえて卑語を用いると、「おまんこ」としての陣容をだいぶ整えつつあった。とてもエロくて——そして、見苦しくなんかない。美しい。私は未成熟な女性器が好きなロリコンだけど、すべての艦娘にこう言いたい。もっと自分のおまんこに、愛着と自信を持っていいんだと。



## 放尿&自慰

自慰で達すると、おしっこを漏らしてしまう。そう聞いた私は、いっぺんに収録することに決めた。上品な雰囲気のある少女が性器を乱暴にほぐし、息を乱すさまは、実に扇情的だ。やがて、綾波が声にならない声上げつつ全身を震わせると同時に、はっきりと見える尿道口から薄黄色の液体が勢いよく飛びだした。そのまましばらく出続けたので、潮ではない、間違いなく尿だ。どうしても床を汚してしまうので、自慰はなるべくドックで済ませるらしい。一度、我慢できずに自室で致したあと相部屋の敷波に見つかってしまったけれど、敷波は何も言わずに後始末を手伝ってくれたとのこと。美しき哉、水雷戦隊の友情。



### 胸部装甲

暁型とならんで無きに等しく、まさに平たい胸族。それにしては妙にドヤ顔ね……「ロリエロ写メ研究は欠かしてませんから! ご主人様と一緒に存分にハハハしちゃってください!」えっ。



## 漣 綾波型九番艦

### 陰部

「霧島さん妙に真面目だから、ほとんど正面からすじ撮ってばかりでしょ? もっと変化つけなきゃダメです! このアングルからのロリまんこも乙なモノだお?」アツハイ……

### 下着姿

かなり小さい娘なので、ノーブラに苺パンツという可愛い格好。妙に楽しそうなのも、さゆえ……と、最初は思っていた。私はまだ、彼女の恐ろしさに気づいていなかったのだ……。



## 性器

所謂「まんぐり返し」の姿勢で未熟な秘所を晒す漣。「まんこ見せるだけで人気者気分を味わえるんだからtwitterって気楽ですよね!」おお、もう……。



## 放尿

「んもう、野ションばかりじゃないですか霧島さん。トイレおしっこも撮っちゃいましょうよ。和式じゃ変化がないから、鎮守府唯一の洋式トイレで。ご主人様絶対興奮しますって。よいしょ。じゃ、おしっこ出しますよー」私と青葉はもはや漣の指示に従って撮影を進めるのみ……。

## 自慰

いつも漣に付き従っている、うさぎっばい何かか懸命に、彼女の性器から溢れる愛液を吸っている。「はあ、はあ……こ、これが、ホントのオナペット☆なんちゃって! あん」私は何故だか、ひどく打ちのめされていた。これがデジタルネイティブ駆逐艦娘の実力ってヤツなのかしら……。



# 潮 綾波型十番艦

## 胸部装甲

というわけで、潮っばい。提督に借りた(略)に載っていた巨乳の少女を彷彿とさせる。こういう娘って、普通に人間として学校に通っていたら、男子にからかわれるのよね……少し申し訳なくなってきた。「大丈夫ですよ霧島さん！ 潮もかなりエロいから！」その声は!?



## 下着姿

口さがない艦娘には「潮っばい」と呼ばれるほど立派な胸部装甲を持っているためか、年恰好に似合わず総レースの下着で登場。翔鶴と一緒に買いにいったそうなのだけど、さすがにこれはやりすぎじゃ……。でもまあ、可愛いデザインのブラがある程度の大きさでよかったわ。巨乳艦娘の悩みは「サイズに合ったブラがごとごとくダサイ」ことだから……。

## 陰部

颯爽と全裸で現れた、それはまぎれもなくヤツさ。「この娘に性教育施したの私ですから。潮はワシが育てた、といっても過言ではありませんなwwwホラホラホラホラ、無毛ロリのツーショット！ 定番ですよ！」何度我々の前に立ちはだかるといのか、漣！ /とはいえ、恥ずかしがりつつもややリラックスした潮の様子を見るに、2人の絆は深いようだ。



# 放尿

「後ろから広げてあげる。  
私も一緒に出すから  
ね、はい、ちー……」  
「んっ……」  
舌を絡めあう2人。  
やがて、少女たちの  
割れ目から、しょろ  
しょろと小水が流れ  
落ちはじめた。潮は  
少し後ろ向きに、漣  
はほぼ真下に。  
高度に発達した  
放尿は性行為  
と区別がつか  
ない——  
そんな言葉  
が脳裏に  
浮かんだ。



## 性器

「はい、潮っばいならぬ、  
潮まんこ、2人でくばあ。  
穴もちっちゃくて、カワ  
イイでしょ？」クレイジー  
サイコロリ・漣に玩ばれ  
つつも、興奮を隠せない  
様子の潮。こんな爛れた  
関係の駆逐艦娘がいた  
なんて……。



## 自慰……？

漣が潮の乳首に吸いつき、陰核をぐにぐにと  
押しつぶしている。潮は間欠的に喘ぎながら、  
陰核の回りを擦りつづけている！これは……  
どう見てもロリレズセックスです！本当にあり  
がとうございました。そして潮が達すると同時  
に、勢いよく吹き上がる二度目のおしっこ。  
漣によると、潮の性器を刺激しながら自慰の  
やり方を教えたつもりが、潮は「漣にしてもらっ  
たことにハマッてしまったらしい。もはや何も言っ  
まい……。」

### 胸部装甲

潮ほどではないにせよ、ブラをつけているだけあってほどよく膨らんでいる。少しずつ大きくなっているのだと胸を張るさまが実に可愛い。



### 陰部

タイツを股間だけ破るのは定石だけどさすがにもったいないので、下だけ脱いで大股を開いてもらった。陰裂に生じたわずかな隙間から、ピンク色の中身がのぞく。割れ目の上端周りの少し濃い産毛は、発毛が近いことを教えてくれる。



### 下着姿

漣のすさまじさに心を折られかけた私たちだが、睦月の年相応の無邪気さには思わず涙が出そうになるほど癒された。自慢げに見せてくる水色の下着も、ちょっと背伸びしてる感があってたいへんよい。これくらいがちょうどいいわよね……。



### 性器

陰部を見せた姿勢のまま、広げてもらった。膣口は小指を通すのも難しそうにほど小さい。「早く如月みたいになりたいにゃー」と言っていたけど、やっぱりあの娘、スゴいの？ ……漣みたいな方向性じゃないといいけど。

### 放尿

「こんなところでおしっこして、提督に怒られませんかぁー？」と不安がりつつ、鎮守府屋内の階段に腰かけ、20秒ほどもかけて排尿。朝トイレに行きそびれたらしく、かなり濃い黄色の尿溜まりからは、鼻をツンとつくアンモニア臭がたちこめた。提督のことなら心配ご無用。その場で飲み干しかねないから、あの人は……。

### 自慰

最近如月にやり方を教えてもらったばかりらしく、ぎこちない手つきで割れ目に指を埋める。膣の中には、まだ痛くて入れられないらしい。「霧島さぁん……これ……にゃあ……なんで、こんなに、気持ちいいんによ……？」と虚ろな、熱っぽい視線を彷徨わせる睦月。こうしている間だけは、戦いのことを一切忘れられる。どの艦娘も。



# 如月



## 胸部装甲

大きさは姉とさほど変わらない。のだけど、なんだろう、このエロさは……。「どう……ですか？」と流し目で問いかけてくるのも、狙ってないんだとしたら、たいしたものだ。

## 陰部

陰毛はほぼ生え揃っている。何故姉妹でこうも発育が異なるのだろうか、と首を傾げざるをえない。ていうか……どうしてそう一々熱っぽい眼差しを送ってきやがりますかこの娘は!

## 下着姿

なるほど、如月もたしかにスゴかった。「……合法ロリ?」と思わず口に出してしまったほど、大人びた雰囲気なのだ、姉のほうはあんなに子供っぽいのに。ピンク色の下着もまた、妙にエロチック。というか、立ち姿を含めて何気ない所作のひとつひとつに色気が漂うのだ、これは……逆に提督の守備範囲外れやしないかしら?



## 放尿

「おしっこって……なんか、エッチだと思うの。私、変態なのかな……って思ってたんだけど、霧島さんも好きなのね。ちょっと嬉しいです。じゃあ、出します……んっ……ああ……いっぱい出てる……」隣で青葉が鼻血を垂らした。



## 性器

なるほど、睦月が懂れるのもわかる気がする。綾波同様、すっかり大人の「おまんこ」だ。大陰唇の周りにもうっすらと陰毛が生えているのが生々しい。「睦月姉さん、そんなこと言ってたの？ 私は姉さんのアソコのほうが可愛いと思うんだけどなあ……霧島さんは、どう思います？」



## 自慰

激しい。それ以外に形容する言葉が見つからない。彼女の右手、性器の周り、お尻から床に至るまで、白濁した愛液にまみれている。睦月にやり方を教えたときは、怖がって半泣きになってしまったそうだ。そりゃそうよね……。

## 胸部装甲

「平たい胸族」「大平原の小さな胸」  
「ウォール・アカツキ」「暁の水平線」  
……等々、ありとあらゆる形容  
が脳裏をよぎる。何が言  
いたいかというと、この上なく  
完ツツ璧なロリっばいで  
あるということだ。

## 暁 暁型一番艦



## 陰部

ソファに腰かけ、足を  
開いてもらう。「大人っ  
ぽく、見える……よね？」  
と頬を赤らめつつ、小首  
を傾げる暁の股間には、  
まるで桃のようなぷっ  
ぐりした恥丘と割れ目。  
ああ……なんてキレイ  
なんだろう、ロリっ娘の  
割れ目……。

## 下着姿

「暁はレディーなもの！」  
と、子供ばんつ一枚の  
恰好で気取ったポーズ  
をとろうとする暁。……  
くうあああああ!!!!  
かわいい!!!! 夕張が  
見てた、女の子が戦車  
に乗るアニメに、ちっ  
ちゃい隊長とその子  
を愛でるノッポの副  
隊長が出てたけど、  
彼女の気持ちがすっ  
ごくわかる気がする  
わ。……そういえば、  
その副隊長の声、  
妙に聞き覚えが  
あるような……。

# 放尿

というわけで、「おしっこするところ」から存分に出してもらふことに。「子供じゃないんだから!」という彼女に、マニアックなエロサイトをいくつか見せたところ、目を丸くしてしばらく固まっていたが、やがて、ある画像と同じ姿勢で排尿を始めた。

「こ……これならたまに、響たちと一緒にするし、ドックで……」今度入渠するときは私も呼んで、お願いだから。



## 性器

まあ……いくら「子供扱いしないでよね!」と言ったところで、性器の未発達ぶりまではフォローしきれない。これはもう、ただの「おしっこするところ」だ。ええ、大好物ですが、何か?

## 自慰

ただでさえ■い暁だが。実はかなり小さなころに自慰を覚えたらしい。なるほど、一人前云々はそれもあつてのことなのかしら。……と思って見ていると、「あ、あ、あっ」と声を上げ、達した。同時に、指を滑りこませていた割れ目からちよろちよろと、薄く色づいた液体が……。「ち……ちあうのお……これはあ……」うん、気持ちよくてお漏らししちゃったのね。全部出たあと、濡れたところを拭いてあげながら、私はほぼイキかけた。

## 下着姿

「ちっちゃい……ですね……」  
隣で青葉が呟く。「そうね……」  
私も答えつつ、胸を隠し、涙目で  
ふるふると震えるパンツ一枚の  
電に目を向ける。今更何言っ  
てんだと我ながら思う  
けど、あまりに■すぎて、  
少し心が痛むのよね……。  
けど！ ロリコンは修羅の  
道。私は心をロリにして、  
もとい鬼にして、電に言った。  
「手、どけて？ 暁ちゃんは  
堂々としてたわよ？」「は……  
はい……なのです……」電は  
意を決したように、右腕を下ろ  
した。するとそこには――。

## 胸部装甲

ただのちっばいがあった。  
けれど……暁ちゃんよりほんの  
ちょっとだけ大きい……。？  
「4人の中で電が一番……その、  
大きい……の、です。毎日牛乳飲ん  
でたからかもしれません」マジか！  
牛乳パネェ！「でも……お姉ちゃん  
たちをさしおいて、末っ子の電が  
一番なのは、なんだか……申し訳  
ない、のです……」俯く電。私は  
涙が出そうになった。そんなことで  
妹を悪く思うような子は、ひとり  
だっていないことくらい、彼女も  
わかっているはずなのに。

## 陰部

「……もしかして、下も……？」  
「はわ、はわわわ！ そんなこと  
ないのです！ 下は……その、  
みんな同じなのです……」そう  
よね、牛乳で女性器が成長する  
なんて話、聞いたことないし。  
でも女性ホルモンはそっち  
にも作用するはずだし……  
よくわからなくなったので、  
とりあえず虚心坦懐に電の  
割れ目を見つめ、撮影した。  
割れ目がエロくて可愛い、  
それで十分じゃない？



## 性器

みんな同じと電が言ったとおり、陰核包皮の形も小陰唇も、膣口の大きさも、暁とほとんど変わらない。「あの……霧島さん」「何?」「ここって、その……お、男の司令官さんの……おちんちんを入れるんですよね?」「へぶあ!!?」「電のはまだ小さいけれど……大きくなったら、ちゃんとおちんちんが入るようになるのですか?」「え、ええと……」冷や汗を流しながら隣の青葉を見ると!今にも砲塔ごと自爆しそうな顔をしていた。やっぱり……この子は、ちっちゃすぎる……。



## 放尿

「ワッザ!」青葉が驚きの声を上げ、私も目を見張った。電さん、遠征中にどんなふうにも用を足しているのか見せてほしいと煽っておきながらナンですが、どうしてそのように、大股を開いて局部を前方に突き出し、大陰唇を広げるなどという扇情的な姿勢でお小水をお出しになっているのでしょうか?「天龍さんとよく、お……おしっこの飛ばしっこをするのです。天龍さんのおしっこはすごくよく飛ぶのですが、電は全然……いろいろ試してみても、この恰好が一番飛ぶんだとわかりました。恥ずかしいけど、これしかないのです!」天龍……あんだ、天才か。



## 自慰

ここにも、魚雷を性具に使う駆逐艦娘がいた……。電の場合は床に置いた魚雷にまたがり、性器を擦りつけるように自分が動くらしい。「気持ちよくて、どうしてもしてしまうのです……。電は悪い子ですか……?」と蕩けた目を向けてくる彼女に、大丈夫、自慰は悪いことじゃない、でも夢中になりすぎて戦場でミスしたりしないようにね、と私は答えた。どうしてロリコンの分際で性教育じみたことをしているの、私は……。

### 下着姿

「まったく、他人の半裸に不躰な視線を投げつけおって。ろりこんとは難儀な性的嗜好じゃな」辛辣な言葉を発しつつも、堂々とした態度である。ショーツは叢雲同様、他の駆逐艦娘たちよりワンランク高価そうなものだが、叢雲と違ってノーブラ。『前世』の艦型の違いが影響しているらしいのだが……このあたり、当の私たちにもわからないことだらけだ。

### 胸部装甲

ツンと尖った少女の乳首について歌った変態詩人は、何と言ったか。私は彼を高く評価する。初春のささやかな乳房に、その詩を捧げたいのだ——。

### 陰部

「どうもこう……  
気品に欠けるとは……  
……思わぬか？  
……生えかけと、  
いうのは……」  
そんなことはありません初春様。  
まだ縮れの少ない陰毛も、  
その下で露わなままの、  
スツと切れこんだ割れ目も、  
貴女に相応しい……。  
青葉もそう思うでしょう？  
「……霧島さん、マジキモいです」

## 性器

「こういうところは……  
夫婦者となった相手に、  
初夜にはじめて見せる  
ものだと思うのじゃが  
……霧島か青葉、それとも  
提督が、わらわをもろうて  
くれるのかや？」と、やや  
肉厚の小陰唇を披露。  
駆逐艦娘ハーレムを  
作りたいのは山々  
なのだけど……。



## 放尿

新たな試みとして、足を広げて  
座った状態でそのままおしっこ  
をしてもらった。ちよろちよると  
控えめに排出される尿が、お尻  
のすぐ前に溜まっていく。初春の  
顔は、北方で活躍した艦とは思え  
ないほど真っ赤だ。ああ……  
いやらしくてかわいい……。



## 自慰

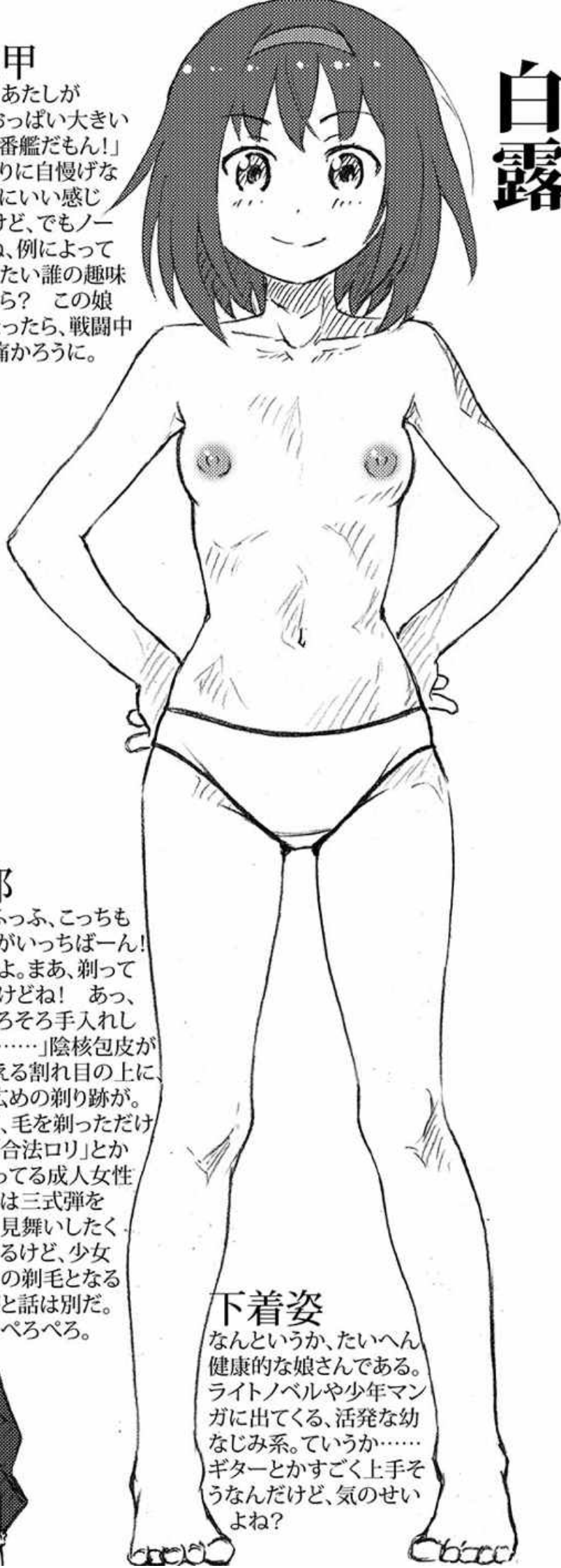
んっ……くっ……と声を押し殺し  
つつ、膣口を攻めるのはなんと、  
いつも持っている扇子！ こ、これ  
は斬新だ……。紙の部分は愛液に  
浸され、しとどに湿ってしまっ  
ている！それを、魚雷のように敵に  
向けてぶっ放すでもなく、日ごろ  
何食わぬ顔で愛用している  
というのは、なんというか、見所  
ある娘ね……変態的な意味で。



# 白露型一番艦

## 胸部装甲

「白露型ではあたしが  
いちばんおっぱい大きい  
んだよ！ 一番艦だもん！」  
ドヤアとばかりに自慢げな  
彼女。たしかにいい感じ  
の膨らみだけど、でもノー  
ブラなのよね、例によって  
……。いったい誰の趣味  
なのかしら？ この娘  
くらいになったら、戦闘中  
に擦れて痛かろうに。



## 陰部

「ふっふっふ、こっちも  
あたしがいちばん！  
なんだよ。まあ、剃って  
るんだけどね！ あっ、  
でもそろそろ手入れし  
ないと……」陰核包皮が  
よく見える割れ目の上に  
少し広めの剃り跡が。  
正直、毛を剃っただけ  
で「合法ロリ」とか  
言ってる成人女性  
には三式弾を  
お見舞いしたく  
なるけど、少女  
の剃毛となる  
と話は別だ。  
ぺろぺろ。



## 下着姿

なんというか、たいへん  
健康的な娘さんである。  
ライトノベルや少年マン  
ガに出てくる、活発な幼  
なじみ系。ていうか……  
ギターとかすごく上手そ  
うなんだけど、気のせい  
よね？

## 放尿

「駆逐艦娘のおしっこが好きい？ あっはっは、提督と霧島さんのへんたーい！」白露はケラケラと笑う。「じゃあ、こういうのはどおかな？」と執務室へやってきた彼女は、全裸になると提督のデスクに片足をかけ、……そのまま排泄を始めた!! 少し斜め前に流れ落ちる尿が、デスクに飛沫を作り、一部は足を伝う。模様替えしたばかりの絨毯にたちまち大きな染みが……。これはさすがに……。丸一日提督の業務が止まると思う。ここで自慰しすぎて。



## 性器

「うりゃっ」お尻を突き出した白露、後ろ手にお尻の肉をつかむと、ぐにいと左右に引っばった。いきおい、陰唇と肛門も一緒に広がる。「どお？ よく見える？」頬を赤らめつつ、彼女は無邪気に訊いてくる。ええ、とっってもよく見えるわ、少し色づきはじめての小陰唇も、プルプルと柔らかそうな膣口まわりも……。今ので、私の「心のちんこ」が3回くらい射精した気がする。



## 自慰

「あたしい……。おっぱいがいっちゃん気持ちよくなるんだあ……。荒い息を吐きながら乳房を揉みしだく。触れてもいないのに、開き気味の秘裂からは白濁した愛液がトロトロとこぼれる。戦闘中に乳首が擦れて痛いのでは、とさっき記したけれど、それどころか感じてしまい、帰投するや入渠もせずトイレに駆けこんで性欲処理……。なんていうことが日常茶飯事らしい。うーむ、秘書艦としてそのあたりを把握していなかったのは痛いわね……。さすがに、スポーツブラを調達してあげよう。

### 胸部装甲

全体のヴォリュームには乏しいけれど、乳首周りだけ大きく突出している。成長期にしばしば見られる乳房だ。「こんなもの、見ても何の面白みもないと思うけど……。はあ……。一緒に入渠したときに見たけど、扶桑も山城も、すごかったな……。そりゃあ、超弩級戦艦娘ですものね……。

### 陰部

「……!! どうして姉さんはそう破廉恥なんだッ!」白露が陰部を披露したときのことを教えると、時雨はたちまち真っ赤になってしまった。「たしかに、僕らは姉さんに比べれば……。薄い……。けどさ。でもこの年なら普通だろ、これくらい。……。だよな?」潤んだ瞳を私に向ける時雨。「何とも言えないわ。個人差が大きかったもの。ただ断言できるのは……。エロいわね。貴女の」「失望した!! 変態秘書艦に失望した!!」

### 下着姿

「まったく……。君たちには失望したというか、何というか……。」ぶつくさ言いながら、するすると服を脱ぐ時雨。「女の子を性的に好きなのは全然構わないさ。だけど、      も行かない駆逐艦相手にこんなことをするというのはさすがにどうなんだ? ……まあ、人間の幼女に手を出すよりはいいか。僕らは艦娘だからね。さあ、好きなだけ撮っておくれよ」その黒いパンツ、エロいわね。「き……。気分だよ、うるさいな!」



### 性器

「ほ……本当に姉さんは、こんなところまで見せたのかい……？」半泣きになりながらも、2本の指で陰裂を開く。中は……溢れんばかりの愛液で満たされていた。興奮している……の？

### 放尿

「信じられない……」茫然と呟きながら、中腰になり、じょおお……とおしっこ。「別に……姉さんの真似して、立ってしてるわけじゃないからね……」

### 自慰

あえて、時雨が事を終えたあとのやり取りのみを記しておく。「白露に失望した？」「そりゃあ……もう」「嫌いになった？」「……ううん。あんな人でも、僕の大切な姉だから。霧島がここへ来る前、僕は半ば、生きる気力をなくしていたんだ。西村艦隊の誰とも、まだ再会できていなかったからね。あるとき、もう何もかもどうでもよくなって、水上特攻まがいのことをやった、単艦でね。ズタボロになって、あとはもう一撃で粉々に……ってとき、他の艦娘たちを連れて駆けつけたのが、姉さんだった。ものすごい勢いで敵をぶっ飛ばして……そのまま、僕のこともぶっ飛ばしたよ。危うく姉さんに沈められるところだったさ。それから、胸倉引っつかまれて立たされて……抱きしめられた。そして、わんわん泣かれた。雨のなか、一緒に降りそそいだ姉さんの涙が……僕の心に、沁みている。だから、ね。雨と姉さんのおかげなのさ。僕が今、在るのは」

# 白露型六番艦 五月雨

## 胸部装甲

姉2人よりも明らかに小ぶりな、「おっぱい」にとりあえず登録してみたという感じの乳房。どーせちっちゃいですよ、ふんだ、とむくれる彼女は、思わず乳頭を舐めまわしたくなるほどかわいい。

## 下着姿

「うーん……ちょっと恥ずかしいですけど、白露姉と時雨姉がやったんなら、やります！」と、半裸になる。姉2人がシンプルながらもスポーティだったりアダルトティだったりするショーツをはいていたのに対し、彼女は白い子供パンツ。おでこを出しているせいか、どこか幼げな顔立ちによく似合う。

## 陰部

無毛の割れ目がまぶしい。白露型では、彼女だけがまだまったく発毛しておらず、末っ子の涼風もちよろちよろと生えはじめているのだとか。そのことが大いに不本意らしく、終始赤面しつつむくれていた。



## 性器

「こんなところ、お姉たちにも見せたことないです……白露姉が、たまにドックで見たがるけど……」と言って広げた陰唇は、意外と肉厚気味。外見は同じ「すじ」でも、中身はまるっきり「ロリまんこ」だった暁型などと比べると、発達具合には顕著な差がある。



## 放尿

「航海中におしっこしたくなったら……こ、こんなふうにかがんで、腰を浮かせたまま、します。いつ深海棲艦の奇襲を受けても、すぐ応戦できるように……」ぱしゃぱしゃ。私は感想を述べる。「それはいい工夫だけど……髪の毛の先がおしっこ溜まりに浸かっちゃってるわよ?」「え!? ひゃ、ひゃああ!!」ド、ドジッ娘萌えー!!!!



## 自慰

足を開いてうつぶせになり、手袋をしたままの指で秘所を激しくかき回すタイプの自慰だ。時折、ぴゅっ、ぴゅっと透明な液体が噴きだし。床を汚していく。表情の蕩け具合は、これまでに見てきた駆逐艦娘たちのなかでも一番かも。時間をかけて少しずつ、何度も達するのが好きらしく、すべてが終わるまで! 私たちは30分近く待った。

### 胸部装甲

普段生真面目な少女を羞恥に染めあげたいというクソツたれた欲望が私を突き動かす。「この部分の大きさは、やはり性能に影響するのでしょうか……。自分では、駆逐艦としてはかなりよい仕上がりに思っているのですが……」ぶつぶつ呟く彼女の表情が、本音を雄弁に物語る。

### 陰部

「こ……この部分は、個人差も大きいと思うのですが……？」朝潮の頬は茹でダコのように紅潮し目尻には溢れんばかりの涙が……。嗜虐心が湧きあがる。申し訳程度の陰毛と、自己主張する陰核包皮が、それを加速させる。そして次の一言が、私のなけなしの理性を粉碎した。「……申し訳ありません。一度、花を……摘んできてよろしいですか……？」

### 下着姿

「かわいい下着ね」私は思ったままの感想を述べた。朝潮は非難と受けとつたらしく、緊張した面持ちで答える。「妹たちが、どうしても作戦行動中に下着が見えてしまうのだから、いっそかわいいのにしたと言いだしたので、長女の私も揃えることに……。あの、気合が抜けるほど華美なものは避けつつもりなのですが……」「いいのよ。その下着を着けて、思いっきり暴れなさいな！」





# 陽炎型一番艦

## 胸部装甲

帝国海軍駆逐艦のほぼ最終進化形態だからか、駆逐艦娘たちの中でもひととき大人びた陽炎型。そのネームシップ、すなわち長女の誇る乳房の美しいことといたら！少女の硬さと、女性の柔らかさが絶妙なバランスで同居している。ワザマエ！

## 陰部

「あたしが人間のままだったら、司令も霧島さんも青葉さんも重営倉どころじゃ済まないわね。まあ、好きなだけ撮っちゃっていいわよ、ロリコン秘書艦さん」グラビアっぽいポーズなど決めてみせる陽炎の股間は、柔らかそうな繁みで覆われている。「キレイだなあ……」青葉が呟く。同感だ。

## 下着姿

「やっと来たわね、変態秘書艦さん」ふふん、と笑う、ブラとショーツ姿の美少女。そう——美少女だ。それが、あまり話したことのない陽炎の第一印象。駆逐艦娘や軽巡洋艦娘の誰もが口を揃える。悔しいけど、陽炎は本当に美少女だと。私も、そう思う。

## 性器

外見同様、よく発育している。小陰唇も色素が沈着しており、「おまんこ」と呼んで差し支えのない堂々たる面構え(?)。さすがに、艦娘になる前にセックスを経験したりはしていないだろうけど……。



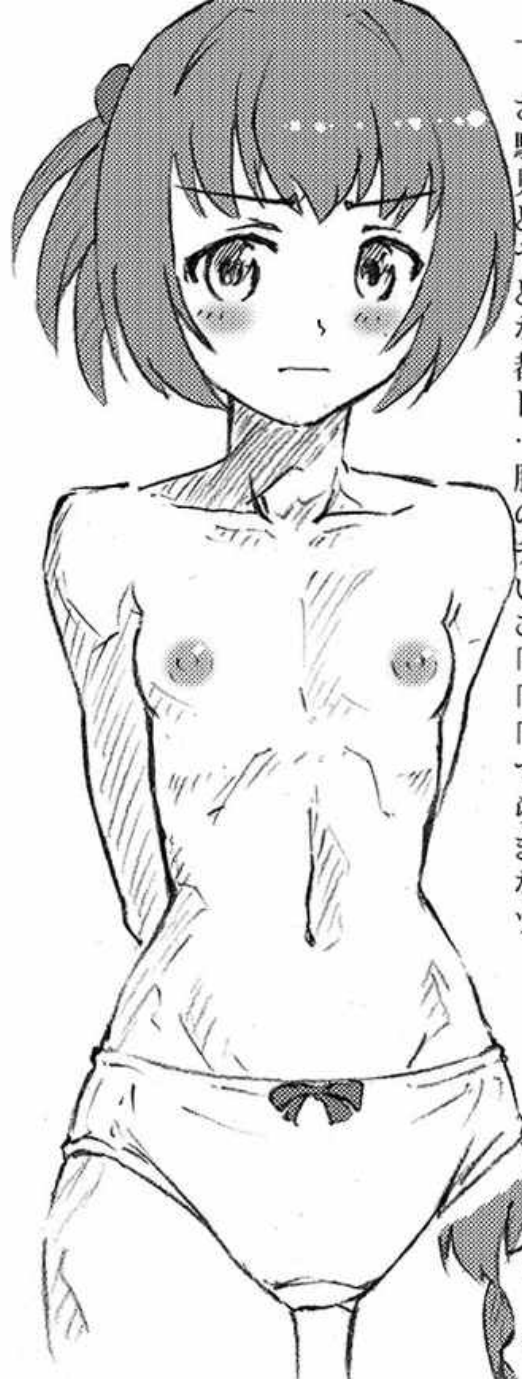
## 放尿

とりすましていた美しい顔に、動揺が走る。「遠征中のおしっこって……ホントに変態なんだから……。普通に、スパッツとパンツ下ろして、しゃがんでするわよ。ほ、ほら、こんなふうに。……うあ、恥ずかしい……」赤面しつつ、野外放尿する美少女。絵になるわね……。



## 自慰

荒い、時折不規則にしゃくり上げるような息づかいと、水音が響く。指の動きは明らかに手馴れている、相当年季が入っていることをうかがわせる。



## 下着姿1

さて……難物のご登場だ。駆逐艦娘たちをまとめて面倒見ている天龍をして「アイツはどうも付き合いづらくて。悪いヤツじゃないんだけどな……」と言わしめる、いつも顔がマジな必殺仕事人。今も、「何か不都合がありましたか?」と、筋トレで鍛えた身体を晒している……ん?「どうしてスパッツを脱がないの?」「脱ぐ必要があるのですか?」「だって、下着姿のチェックだし」「スカートの下はいつもスパッツなので、事実上これが下着のようなものです」「じゃあ『ぱんつはいてない?』」「はいてます」「見せてよ」「……」「秘書艦としての指示です。ついでに言うと提督から権限を与えられているわ」「………わかりました」長い沈黙ののち、いつになく洗面を作った不知火はスパッツに手をかけた。そして……。

陽炎型二番艦  
**不知火**



## 下着姿2・胸部装甲

「……」「……」「……ぱんつかわいい」「何か落ち度でも?」ぎろりと恨みがましい視線を向けられる。が、いつもの迫力に欠ける。だって、ねえ、そのパンツは貴女にはちょっと子供っぽいんじゃないかしら。「実用性を考えればこれが一番よいのです。女兒用はある程度の耐久性を前提として作られていますから」「そのリボンは何?」「………たまたま、ついていただけです」このころにははっきりと、頬を赤らめていた。「ぬいのこと、かわいく撮ってあげて。本当はすごくかわいいのよ、ぬいは」と陽炎にしつこく言われた意味がわかった気がする。なお胸は実際平坦だった。



## 陰部

「何とでも言ってください……外性器の発育に関して、不知火に落ち度はありません」そっぽを向いたまま、口を尖らせる不知火。ようやく産毛から陰毛に変わりはじめたあたりの下は、ただの割れ目。「ねえ……ぬいちゃんって呼んでいい?」「喧嘩売ってるんですか?」



## 放尿

「もちろん、海の上では防御上、数隻で固まって用を足すことが多いですが……こういうのは、意図的に見せるものではないと思います」「といつつ、たくさん出てるわね……我慢してたの？ 全部出していいからね」「——!!」それこそ、火がついたように赤面するぬいちゃん。悪い意味でなく、この姿はあまねくすべての艦娘に見せたい。きっと、打ち解けられるはずだ。

## 性器

「戦闘に差支えがなければ、強姦以外の性的嗜好は許容するつもりですが……本当に司令や霧島さんは、こんなものを見て興奮するのですか？」視線を反らせたまま広げた女性器は、姉よりも未熟。「あと……本当に、ここに男性器を出し入れするのでしょうか、世の女性や艦娘は」ぬいちゃんマジぬいちゃん。

## 自慰

猫に小判、ではないけれど、不知火に性欲、というのも想像できない取り合わせだ。「今更どうにもなりません……不知火は色々……誤解されているようです……不知火もプライベートな時間にはマンガを読みますし、性欲を……持っています。マンガのエロチックな描写で性的に昂じたりすれば……、こうして自慰も……します……。かげ、と、同じ……です……ッ」そこまで言って、何度か大きく身体を震わせ、ぬいちゃんは達した。エロかった。それ以上に、かわいいと、思った。無意識のうちに陽炎を「かげ」と呼んだあたり、特に。

### 胸部装甲

ぼよん。という擬音でもつけたくなる、程よくふくらみかけた胸。ノーブラで薄手のワンピースを着ているため、しばしば乳首が透けてしまっているのだけど、いっこう気にするようすはない。逆に周囲が恥ずかしくなる……案外、浮いている理由はそれなのかも。とはいえ、そう簡単に換装するわけにもいかないし……私たちが慣れるしかないのね。

### 陰部

「しれえもきりしまさん  
も、雪風の裸が好き  
なんですか？ こん  
なのでよければ、いく  
らでもどうぞ！」ワン  
ピースの前を開け、  
パンツを少し下ろし、  
上着の裾をからげて  
つるんとした無毛の  
割れ目を晒す雪風。  
あまりの無邪気さ、  
こちらへの信頼の揺  
るがなさに、私も青葉  
も動揺を隠せない。  
「あの……イ、イヤ  
だったり、恥ずかし  
かったりしない？」  
「大丈夫です！  
雪風はみなさん  
のお役に立ちたい  
のです！」  
なんか……  
生れてすみません  
……。

### 下着姿

陽炎型はやたらとキャラが立っている。史実でも現世でも、あらゆる攻撃をかいくぐって敵を打倒する雪風など、その最たるものだろう。突出ぶりからいまいち周囲になじめず、同じような境遇の島風くらいしか話し相手がいないとか。この娘もなんとかしないと……ていうか、一切の抵抗なく服を脱いだので逆に心配になってきた。雪のように白い子供パンツが小麦色の肌に映える。

## 性器

「こうすればよく見えますか？」お尻を突きだし、後ろ手でくばあ、と性器を広げる雪風。陰裂の中は意外と複雑な形状で、膣口も指が2本くらい入りそう。「島風さんと、触りっこしてるからかもじれません」……え???

## 放尿

お尻をついてパンツをずらしすや、ぷしゃああと勢いよく尿が飛びだした。この方法は島風直伝なのだそう。そういえば、あの子もパンツをずらしておじっこをしていたっけ。それにしても、この羞恥心のなさ、マジモンのロリ動画のノリだわ……さすがに心が痛い。

## 自慰……?

呼ばれて飛びでて、とばかりに忽然と姿を見せた島風。「えっと、島風さんの足にまたがってお股をこすりつけるのが、一番気持ちいいんです……」言うが早いか、雪風はそのとおりの行為に及びはじめた。島風のソックスに愛液が染みを作る。頬を紅潮させた2人の少女は、いつしか互いの唇を吸い、舌を絡め、唾液を舐めとっていた。「あ、あッ……来る、来るッ……」「いいよ雪風ちゃん、島風の足で気持ちよくなって!」「あッ!!!」雪風が。がくがくと腰を震わせて達した。隣で青葉が、とろんとした目で、無意識に股間をまさぐっている……。

### 下着姿

一部でどうも誤解されているようだが、私は別にオタクではない。アニメなんて夕張がエアチェックしているのをたまに見せてもらうだけだし、マンガもせいぜい本棚1本分しかないし、同人誌に至っては通販でしか買ったことのない私ごときがオタクを名乗るなどおこがま「えっ!!? あの本描いたの貴女だったの!!? ネ申キタコレ!!! 秋雲先生と呼ばせてください!!!!!!」



### 胸部装甲

……と、というわけで、2時間ばかり熱く語らったのち、恐れ多くも秋雲先生の胸部装甲を撮らせていただくことに。「なかなか、自分で描くようには育ってくれないよねー」いえいえ何をおっしゃいますやら。お美しいです、先生のふんわり柔らかそうなおっぱい。じゅるり。

### 陰部

「うーん、いざ自分が脱ぐとなると照れくさいな……」恥じらいつつご披露いただいた股間にはうっすらと繁る陰毛と、陰核包皮のはっきり判る割れ目が。「二次元はいいよねー。毛なんかなくたって、何の不都合もないどころか喜ぶ人も多いし。リアルじゃ勝手に生えてきちゃうからなあ」先生。私は、先生の陰毛、好きです。(迫真)





## 性器

「自分のまんこ、あんまり好きじゃないんだよね……グロいし。ていうか、まんこは二次元に限るよ。いくらでも美化できるからね。まあ二次元でもグロマンのほうがエロいって人はいるけどさ、秋雲はやっぱり、蛍光ピンク使えるキレイなまんこでハァハァするほうだわ。霧島さんは、どお?」「先生のおまんこ……先生のおまんこ……ハァハァ……」「あー秋雲さん、霧島さんなんかハイパーセルフプレジャー始めちゃったんで、しばらく待ちましょう」「おお……目の前で年上メガネ美人が自分のまんこ見ながら抜いてるとか、斬新だわ……あとでネタ帳につけてこ」  
達したあと、死にたくなった(小並感)

## 放尿・自慰

「そっかー、霧島さんはロリっこ好きなのかー。女の子のおしっこ萌えるよねー。わかるわー。じゃあ秋雲の持つてるエロ同人誌、いくつか貸してあげよう……(2時間経過)……すごいね、絶倫だね霧島さん……いかん霧島さんのオナニー見て興奮してきた。秋雲もエロ同人誌で抜くから見ててね……(しばし経過)……あッ、あーヤベエ、イキそう……霧島さん、青葉さん、ちょっと離れたほうがいいよ、秋雲イくときおしっこ出ちゃうから……え、の、飲みたい!!? いいけど……あーホント、イく、イくッ……「おお、メガネロリコンネキが秋雲のおしっこ飲みながらすごいトロ顔になってるう……これはエロいわあ……次の本は実録レス放尿セックスでイこうかな……」







下着姿・  
胸部装甲・陰部

そして私はたどりついた。夕雲  
……提督のセフレのもとへ。  
「お前のような駆逐艦がいるか」  
と思わず声を上げてしまったほど、  
全身からアダルトな雰囲気  
を漂わせている。脱いだらもっとす  
ごい。大人の風格を漂わせた乳房。  
完全に割れ目を覆い隠す縮れた  
陰毛……。これは、なんか、敵わな  
いわ。……敵わない？ 何  
において？

そうか。私、提督のこと、好きだった  
んだ。

## 性器

そっと押し広げられた秘裂の中は、何故か、大量の白濁した愛液でしどに濡れていた。とろりと、お尻を伝ってこぼれ落ちる。「こういう撮影が来るって聞いて、夕雲、興奮しちゃって……一度オナニーしたあとなんです。やだ、口に出したら恥ずかしくなっちゃった」やべえよ……やべえよ……この娘。



## 放尿

「あん、いっぱい出ちゃう……これ、提督がご覧になるのよね？ 悦んで……もらえるかしら……」……いつもみたいに、とか言わないの？ とは訊けなかった。

## 自慰

「提督……提督ウ……」蕩けきった顔で、「提督の女」が喘ぐ。それを撮る私は、いったいなんなのか。激しい自慰が終わったあと、夕雲が言った。「今度……夕雲と、提督と、霧島さんと、3人でしませんか？」そのとき私はどんな顔をしていたのだろうか。あとで、青葉にそっと抱きしめられて、なんとなく想像はついたけれど。

『おしっこくしょん』原型のひとつとなった落描き。  
遠征中に用を足す島風と雪風の図。



『おしっこれくしょん』原型のひとつとなった落描き。  
遠征中におしっこの飛ばしっこをする天龍と電の図。



PRODUCED BY LUNATIC PROPHET



恍惚のロリコンポーズ

2013.12.30.